

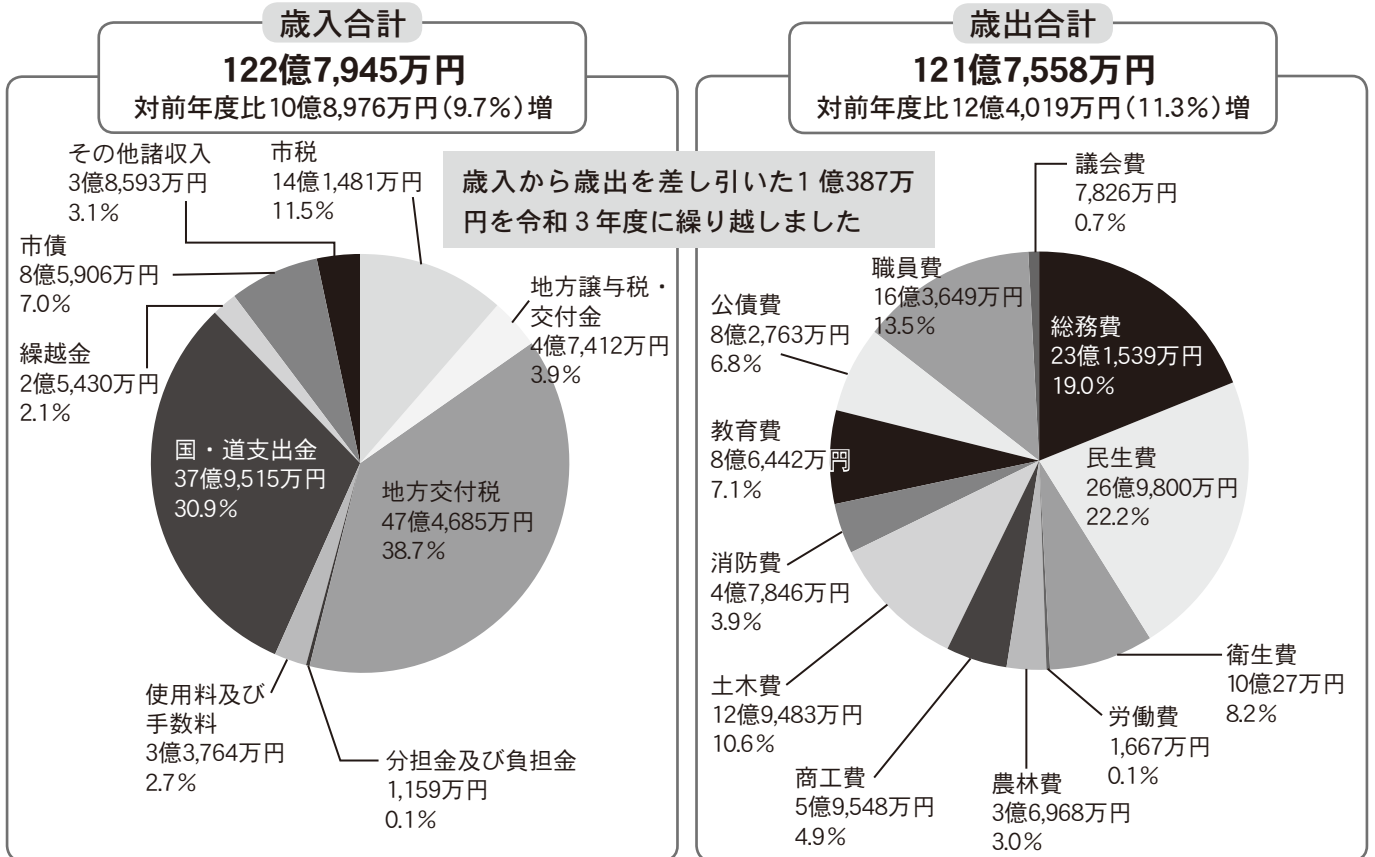
令和
2年度

決算の状況をお知らせします

市は、皆さんから納めていただいた市民税、固定資産税などの税金や国・北海道から受ける交付金などを基に予算を組み立て、皆さんが安心して暮らすことのできる住みよいまちづくりに取り組んでいます。今回は、市の予算がどのように使われたのか、令和2年度の決算状況をお知らせします。

一般会計 福祉や教育など、市の基本的な事業の会計です。

歳入と歳出の差引額 1億387万円から令和2年度への繰越明許費繰越金 5万円と前年度の実質収支額 2億5,116万円を差引いた結果、1億4,734万円の赤字となりました。



◆市民1人あたりの歳入と歳出◆

※令和3年3月31日現在の人口(住民基本台帳)で割って算出(12,603人)

歳 入			歳 出		
市税	皆さんが納めた税金	112,260円	議会費	議会運営にかかる費用	6,210円
地方譲与税・交付金	消費税の一部として交付されたお金や自動車税環境性能割などから分配されたお金など	37,620円	総務費	地域振興や庁舎管理、情報化推進などの費用	183,717円
地方交付税	一定のサービス水準を確保するため、人口や税収などに応じて国から配分されるお金	376,644円	民生費	高齢者、障がい者、児童などの福祉の費用	214,076円
分担金及び負担金	保育料などの特定の利益を受けるかたが負担されたお金	920円	衛生費	ごみ処理、保健衛生などの費用	79,368円
使用料及び手数料	施設の使用料や住民票の手数料など	26,790円	労働費	雇用や労働環境向上などに対する費用	1,323円
国・道支出金	市の事業に対し、国や道から交付されたお金	301,131円	農林費	農業振興や林業振興などの費用	29,333円
繰越金	前年度から繰り越されたお金	20,178円	商工費	商工業振興や観光などの費用	47,249円
市債	国や金融機関から借り入れたお金	68,163円	土木費	道路、河川、公園などの費用	102,740円
その他諸収入	寄付金や財産収入など	30,622円	消防費	消防、救急活動の費用	37,964円
			教育費	小中学校、生涯学習振興などの費用	68,588円
			災害復旧費	災害が発生したときの復旧費用	0円
			公債費	国や金融機関などから借り入れたお金の返済費用	65,669円
			職員費	市職員の給与や退職金	129,849円

特別会計

一般会計とは別に、独立して経理を行う会計です。

会計名	予算額	歳入	歳出	歳入歳出差引額
奨学資金	4,144万円	4,437万円	4,134万円	303万円
国民健康保険	19億9,313万円	19億9,943万円	19億3,713万円	6,230万円
下水道事業	5億4,669万円	5億4,327万円	5億4,326万円	1万円
介護保険事業	17億8,052万円	17億6,101万円	16億7,309万円	8,792万円
介護サービス事業	1億1,836万円	1億1,497万円	1億1,497万円	0万円
後期高齢者医療	2億8,820万円	2億8,497万円	2億8,489万円	8万円
合計	47億6,834万円	47億4,802万円	45億9,468万円	1億5,334万円

企業会計

民間企業のように、利用料金などの収益で運営する会計です。

会計名	収支区分	収入	支出	収支差引額
病院事業	収益的収支	19億670万円	19億4,071万円	▲3,401万円
	資本的収支	1億3,406万円	1億9,676万円	▲6,270万円
水道事業	収益的収支	4億4,743万円	4億2,416万円	2,327万円
	資本的収支	2億1,244万円	3億3,673万円	▲1億2,429万円

市の財産

市が市民の皆さんに対して、さまざまなサービスを提供するために持っている土地や建物、そのほかの財産は次のとおりです。

○基金

区分	金額
一般会計	
財政調整基金	4億8,145万円
減債基金	1億8,253万円
地域・産業振興基金	6億3,824万円
公共施設等整備管理基金	3,038万円
教育・文化・スポーツ振興基金	5,270万円
学校教育施設等整備基金	0万円
庁舎建設基金	7,820万円
森林環境整備基金	2,017万円
学校基金	141万円
特別会計	
奨学基金	4,672万円
国民健康保険基金	1億448万円
介護保険基金	3億6,495万円

○土地・建物

区分	面積
土地	
公の施設	439万3,850m ²
山林	555万9,698m ²
その他	92万9,982m ²
計	1,088万3,530m ²
建物	24万7,362m ²

○有価証券・出資による権利

区分	金額
有価証券(株券)	4,224万円
出資金・出えん金	6,567万円

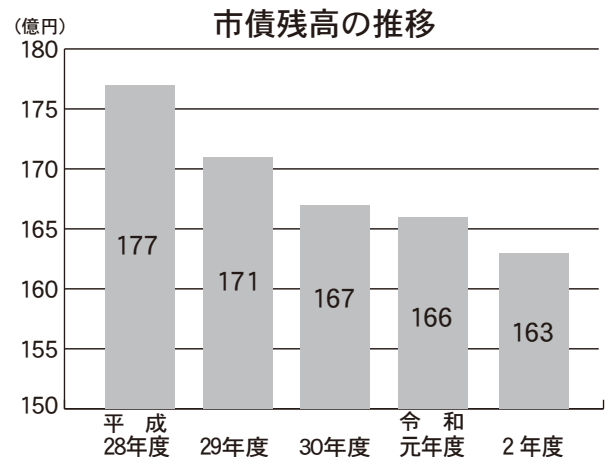
○北海道市町村備荒資金組合納付金

区分	金額
普通納付金	1億815万円
超過納付金	11億2,543万円
合計	12億3,358万円

市債

市債とは、市の借金のことです。一般、特別、企業各会計の市債残高の合計は、下のグラフのとおりです。

区分	令和2年度末 現在高	令和2年度 元利償還金
一般会計	104億2,024万円	8億2,625万円
下水道事業特別会計	26億5,770万円	4億328万円
介護サービス事業特別会計	3億5,758万円	5,796万円
病院事業会計	6億1,652万円	1億596万円
水道事業会計	22億1,667万円	2億2,252万円
合計	162億6,871万円	16億1,597万円



健全化判断比率と資金不足比率を公表します

平成19年6月に公布された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」(財政健全化法)により、毎年度、健全化判断比率と資金不足比率を算定し、公表することが義務づけられています。

令和2年度決算に基づいて算定された芦別市の健全化判断比率は、財政再建に取り組まなければならない基準(早期健全化基準)をいずれも下回っています。

●令和2年度決算に基づく健全化判断比率

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
公表数値	—	—	5.5 (5.9)	91.7 (92.6)
早期健全化基準	14.43 (14.44)	19.43 (19.44)	25.0 (25.0)	350.0 (350.0)
財政再建基準	20.00 (20.00)	30.00 (30.00)	35.0 (35.0)	

※1 実質赤字比率または連結実質赤字比率がない場合は、「—」と記載しています。

※2 ()内は令和元年度決算に基づく数値です。

1. 実質赤字比率 …… 標準的な収入に対する赤字額 赤字なし

一般会計等の赤字が標準的な収入に占める割合を示す指標です。
家計簿に例えると、世帯主の収入に対して赤字額が占める割合になります。

2. 連結実質赤字比率 …… 標準的な収入に対する各会計を連結した赤字額 赤字なし

全ての会計等の赤字が標準的な収入に占める割合を示す指標です。
家計簿に例えると、世帯主の収入の合計に対して家族全員の赤字額が占める割合になります。

3. 実質公債費比率 …… 標準的な収入に対する借金返済の負担割合 健全

標準的な収入における地方債(国や銀行などからの借入金)の返済額などが占める割合を示した指標です。
家計簿に例えると、住宅ローンなどの返済額が収入に占める割合になります。

4. 将来負担比率 …… 標準的な収入に対する将来の実質的な債務などの負担割合 健全

標準的な収入における今後負担することになっている負債額などが占める割合を示した指標です。
家計簿に例えると、住宅ローンなどの残高が現在の収入に占める割合になります。

●令和2年度決算に基づく資金不足比率

企業会計・特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0%
市立芦別病院事業会計	3.0%	20.0%
下水道事業特別会計	—	20.0%

※ 資金不足比率がない場合は、「—」と記載しています。

市立芦別病院事業会計3.0%

資金不足比率 …… 公営企業会計の事業規模に対する赤字額 他の会計は資金不足なし

毎年の事業収入に対して現金がどのくらい不足するのかわかる指標です。
家計簿に例えると、世帯主以外の家族一人一人の収入に対する赤字額の割合です。

都市計画税の用途状況をお知らせします

■都市計画税の用途内訳

区分	金額(千円)	構成比(%)
公園整備事業	1,863	0.4
下水道整備事業	19,108	4.3
地方債償還額(※)	424,316	95.3
合計	445,287	100.0

※街路、公園、下水道事業のために借り入れた地方債償還額

■都市計画事業等の財源内訳

区分	金額(千円)	構成比(%)
都市計画税	58,252	13.1
地方債	13,000	2.9
一般財源等	366,156	82.2
その他	7,879	1.8
合計	445,287	100.0

都市計画税は、街路、公園、下水道整備などの都市計画事業等の費用に充てるため課税される目的税で、都市計画区域のうち、用途地域内に土地や家屋を所有しているかたに、その資産の価格に応じて納めていただく税金です。

令和2年度の都市計画税(5,825万円)は、左記のとおり都市計画事業等(4億4,529万円)の財源として活用しました。

令和 2 年度 主な事業の決算額

事業名	決算額	事業の成果の内容
市有物件除却事業	1,409万円	「芦別市公共施設等総合管理計画」第1期アクションプランに基づき、財政負担の軽減・平準化を図るため、老朽化等により利活用の見込みのない啓成中学校旧教職員住宅の除却工事を実施しました。
公共施設の感染防止対策	8,052万円	公共施設における新型コロナウイルス感染症の感染防止を図るため、総合福祉センター等の指定避難所等換気空調設備の整備や市民会館・青年センタートイレ改修工事を実施しました。
森林環境保全整備事業	3,835万円	市有林における森林資源の確保、地元木材の価値の向上、民有林林業の振興及び二酸化炭素の吸収源対策を図るため、人工造林や下刈、間伐等を実施しました。
道の駅整備事業	3,462万円	インバウンド対応の充実を図るため、道の駅トイレの和式便器の洋式化及び温水洗浄便座・暖房便座の設置、照明のLED化等の改修工事を実施しました。
道路維持改良事業	1億 726万円	舗装の改良や段差の解消、高齢者や障がい者に配慮した歩車道の確保のため、上芦別あかしや3番線ほか11路線の維持改良工事を実施しました。
除雪機械整備事業	1,694万円	除雪体制の充実を図るため、老朽化した除雪ドーザを更新しました。
河川整備事業	2,910万円	災害に強い安全な河川環境の充実を図るため、新城川ほか2河川の護岸整備工事等を実施しました。
公営住宅建替事業	3億2,132万円	住宅環境の充実を図るため、公営住宅すみれ団地建替工事（2棟12戸）及び外構整備工事等を実施しました。
小学校情報化教育推進事業	5,318万円	国が推進するGIGAスクール構想に基づき、コンピュータ教育の推進を図るため、校内ネットワーク環境の整備のほか、児童及び教師用のパソコン等の整備を行いました。
中学校施設整備事業	1,359万円	適切な校舎の管理運営を図るため、芦別中学校3線校舎の屋上防水工事を実施しました。
中学校情報化教育推進事業	5,127万円	国が推進するGIGAスクール構想に基づき、コンピュータ教育の推進を図るため、校内ネットワーク環境の整備のほか、生徒及び教師用のパソコン等の整備を行いました。
市民会館・青年センター整備事業	1,045万円	適切な施設の管理運営を図るため、市民会館中ホールの上サッシ取替工事を実施しました。
宿泊交流センター整備事業	3億 448万円	合宿事業の推進を図るため、あしべつ宿泊交流センター2号館の新築工事及び外構整備工事等を実施しました。

令和 2 年度寄付金の状況を公表します

■受領した寄付金の状況

区分	件数	金額
個人	3,382件	86,745,000円
企業・団体	7件	3,038,700円
合計	3,389件	89,783,700円

市には毎年、個人、企業・団体から多大なるご厚意のもと、多くの寄付金
が寄せられています。この貴重な寄付金は、市のまちづくりの大きな支えと
して、有効に活用させていただいており、改めて感謝申し上げます。今後と
も、皆様と「ふるさと芦別」の縁を大切に育んでまいりたいと考えておりま
すので、芦別の発展に温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

○寄付金の活用状況

事業区分	活用事業
令和2年度に頂いた寄付金	
生活・環境に関する事業	公園管理費、生活交通確保対策事業、移住・定住促進事業など
産業・経済に関する事業	企業振興事業、健民センター管理運営費、木質バイオマスエネルギー利用促進事業など
保健・医療・福祉に関する事業	感染症予防対策事業、子どもセンター管理運営費、市立芦別病院医療機器等購入事業など
教育・文化に関する事業	総合運動公園維持管理費、小学校情報化教育推進事業、合宿振興事業など
ふるさと納税促進に関する事業	ふるさと納税感謝特典償費、ふるさと納税ポータルサイト利用手数料など
令和2年度にいただいた寄付金8,978万3,700円は、上記の事業に活用させていただきました。	

令和元年度までにいただいた寄付金

地域・産業振興基金	滝里湖オートキャンプ場整備事業、旭ヶ丘公園整備事業など
公共施設等整備管理基金	市民会館・青年センター施設整備事業
教育・文化・スポーツ振興基金	各種体育団体助成事業、青少年育成事業
令和元年度までにいただき基金に積み立てしていた寄付金のうち、4,436万5,853円を上記の事業に活用させていただきました。	